



社会変革の波に、バッテリーで挑む - 産業界インタビュー (2) -

パナソニック エナジー株式会社

競争力革新統括室 技術戦略室 エナジー解析部 部長 湯浅 浩次 さん

今回はリチウムイオン電池（以下、LiB）の開発に長年携わってこられ、また小型充電式バッテリーのリサイクル活動を電池メーカーや使用機器メーカー、輸入事業者が共同で行う団体である(一社)JBRCの代表理事も務めるパナソニック エナジー株式会社 部長 湯浅 浩次さんに、バッテリー事業やバッテリー教育プログラムにかける想い等を伺いました。

バッテリー事業の概要

パナソニックエナジー株式会社は、松下幸之助氏が1918年に松下電気器具製作所を創設し、1923年に電池式自転車ランプの開発により電池事業を創業したことを源流とする企業で、100年以上にわたり一次電池、二次電池の技術ノウハウを蓄積してきました。現在当社では各種携帯機器やコードレス家電用に加えて車載用、電動アシスト自転車用、データセンターのバックアップ電源用等、皆さんの身近なところで活躍する様々なLiBを開発、製造販売しています。また近年ではタイヤの空気圧センサに用いるリチウム一次電池も、ニーズが高まっているところです。

バッテリー事業にかける想い

1989年にはニッケル水素電池、1994年には

LiBの製造販売、2008年には車載用LiB円筒形電池等、多様なバッテリーの開発、製造を進める当社ですが、近年も続々と国内外で研究拠点や工場の新設を続けています。米国ネバダ州への工場新設等海外展開もさることながら、マザー工場の機能や技術革新の中心は近畿にあります。生産プロセス開発棟やセル開発の研究開発棟等を大阪府に、和歌山県には工場を新設したり等、近畿を中心に日本国内外へさらなる研究開発や生産能力増強に向けた取組を推進しています。



和歌山工場

今後の方向性について

カーボンニュートラルやデジタル化の潮流を受けて、「電気を使うことでより便利に、かつ環境にやさしく」する仕組みの構築が重要です。

例えば、身近なものであればバッテリーを搭載することでコードレス化した家電や、モビリティの更なる電動化への需要が高まることになるでしょう。



円筒形リチウムイオン電池セル

現在当社では国内約5,000人、海外も含めると約2万人の社員が活躍していますが、バッテリーの需要の高まりを受けて新卒、キャリアともに積極的に採用活動を行い毎年多くの仲間を新たに迎えています。出身は化学、機械、電気、事務系等様々ですが、社員に共通しているのは、つまずきや失敗も学びの起点として組織で共有し、諦めずに悩みぬき、解を見つける姿勢です。

未来を担う世代に向けたメッセージ

現代社会においてバッテリーは社会インフラといっても過言ではありません。バッテリーのリサイクルをテーマに高専で授業をした際、強調したのは、リサイクルひとつ取っても環境問題だけでなく資源確保の地政学リスク、使用済みバッテリーの安全な回収等、様々な視点があり、奥深いということです。自身が作成した教材にはそのような思いを存分に込めました。

バッテリー教育プログラムの作成に際して、個人的には「対話」を意識しています。日本や世界で技術開発が進む中で、学校の専攻や地域にとらわれず、自分は何を成し遂げたいのか、地球規模の問題に対してどう立ち向かうのか、バッテリー授業をきっかけに意識してほしいと考えています。そして何より大切なのは、そうした自身の考えを伝える力です。国語の授業はもちろん、読書やディベート等を通じて、様々な立場の人と対話し、互いの考えを伝達する力が、社会に出た際には非常に役立ちます。

若手社員の声

高専卒業後、同社の生産技術部門で活躍する北条駿人さんにお話を伺いました。

バッテリー業界を選んだきっかけは？

高専で燃料電池の研究をしており元々エネルギーに関心があったのですが、就職先を検討する中で当社ではエネルギーに関わる仕事ができること、また海外の自動車メーカーに電池を提供する等海外事業も盛んなことを知りました。日常生活で馴染み深い乾電池を扱っている点にも惹かれました。

どんなお仕事をされていますか？

バッテリーの組立工程を担当しています。当社の電池製造に必要なプロセスを検証し、設備メーカーと相談を重ねて設備を製作した後、バッテリーを試作して品質や稼働効率の確認・検証により、高品質・高生産性の設備導入を行うことが主な業務です。新規の電池を製造する際、電池の設計検討と設備設計を同時に進めるために、柔軟な設計変更が求められます。材料担当と設備担当の間に立ち、生産効率向上を図る重要な役割を担っています。意見を発信しやすく、また尊重してくれるので、業務内容だけでなく仕事の進め方等についても相談しやすい環境だと感じています。

今後挑戦したいことは？

入社後6年間組立設備の設計に携わり、知識を蓄えてきたので、次はライン全体の設計を担当することが目標です。設備設計には高専で学んだ機械系の知識だけでなく制御の知識も必要なので、勉強したいと考えています。また海外業務のスピードを実感するために、海外勤務にも挑戦したいです。



編集後記

長年バッテリーの研究開発に携わってこられたご知見を存分に活かし、学生が関心を持ちそうなテーマや産業界として知ってほしい内容を精査し、教材を作成して下さっている湯浅さん。

担当頂いた教材のうちのひとつ「リサイクル(STEP2教材)」は[教材サンプル](#)をご紹介しますので、併せてご覧ください。

パナソニック エナジー株式会社

設立 : 2022年
 資本金 : 非公開
 従業員数 : グローバル連結 約20,100人 (2024年度)
 本社所在地 : 大阪府守口市松下町1番1号

